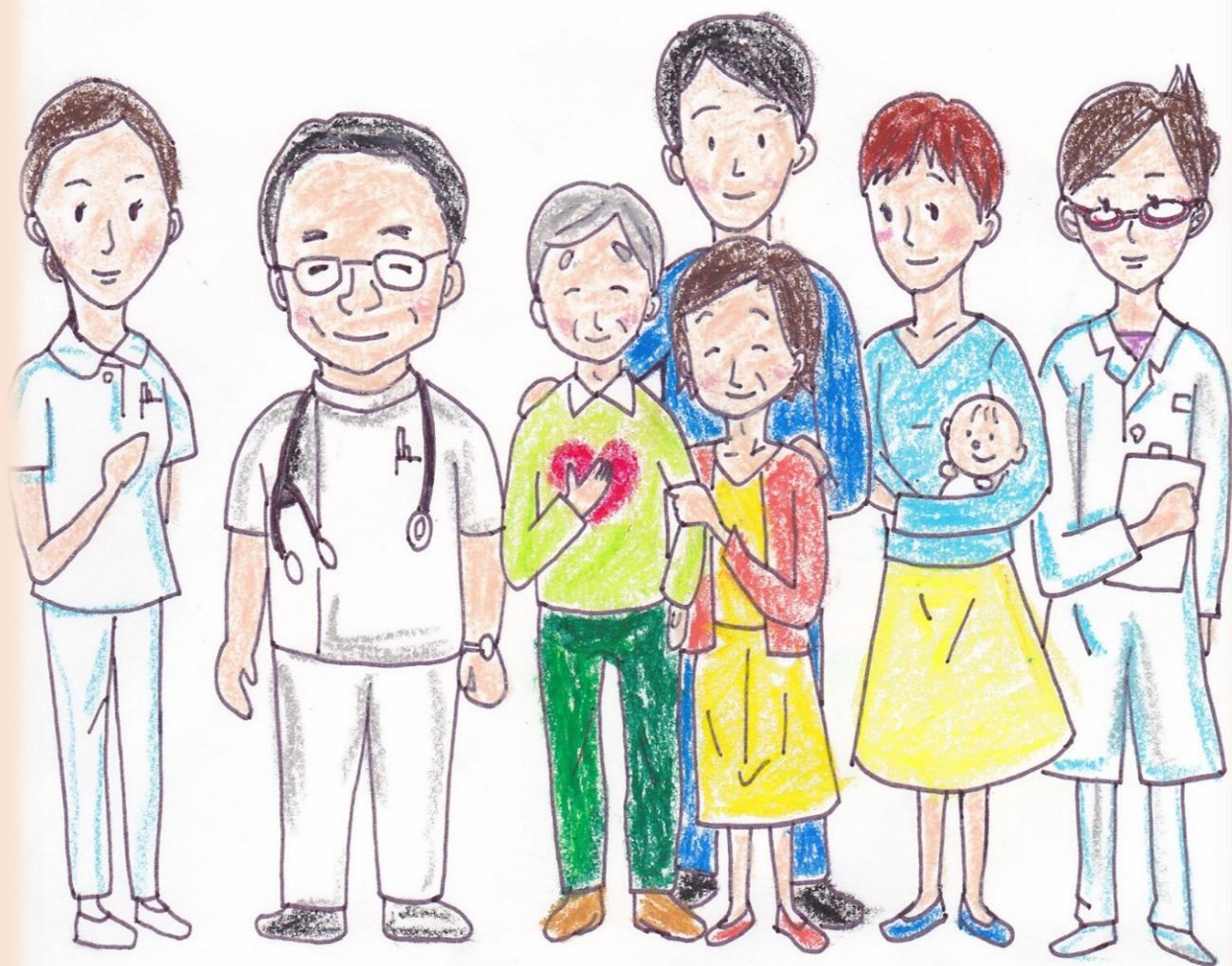


知ってください「緩和ケア」

～病気がわかったときからはじまる緩和ケア～



緩和ケアとは、

病気を抱える患者さんやその家族のからだ
ところのつらさをやわらげ、あなたらしい生活
を送れるように支えていくケアのことです。

緩和ケアの内容

痛みなどのつらい症状をやわらげます。

痛み・息切れ・だるさ・吐き気・不眠・手足のしびれ・治療に伴う副作用など、あなたにとってつらいと感じている症状をお話してください。

症状を少しでもやわらげることができるよう支援します。



「あなたらしさ」を大切にします。

ケアの内容や生活面であなたやご家族が大切にしたいと思うことについて、できる限り希望を尊重します。



こころのケア

病気になると、「自分がなぜこのような病気になってしまったのだろう」、「家族に迷惑をかけてしまっていてつらい」など、身近な人にも言いづらい思いを抱えやすくなります。

そうした気持ちに寄り添い、あなたのつらい気持ちが少しでもやわらぐよう支援します。

また、治療に関すること・生活面のこと・経済的なことをご相談ください。



家族へのケア

ご家族は、あなたにとって大切なサポーターですが、不安になったり悩んだりすることもあります。

そのため、ご家族の気持ちにも耳を傾け支援します。



緩和ケアを受ける時期は？

〈がんの場合〉
抗がん剤治療中は
緩和ケアを受けられないの？

緩和ケアは末期の
イメージだけど・・・



緩和ケアはいつでも受けることができます。



緩和ケアは、

- 病気が分かった時から受けることができます。
- 病気を治すための治療や、がん治療（手術・抗がん剤治療・放射線治療など）と並行して受けることができます。
- どのような病状であっても、どのような時期にも受けることができます。

からだやこころのつらさが続くとき

専門のスタッフが相談させていただきます。

当院には、緩和ケアを専門的に提供している医師、看護師、薬剤師、臨床心理士などで構成された「緩和ケアチーム」があります。一緒に考え、良い方法が見つかるように支援します。また、あなたの主治医と協力し、対応させていただきます。



●看護師

からだやこころのつらさが軽減できるよう、思いや希望をお聞きしながら、一緒に考えます。



●医師

病気に伴う色々な症状に対して、できるだけ症状が軽減できるようにします。



●薬剤師

お薬の気になることについて、いつでもお話しください。不安がないようお手伝いします。



●臨床心理士

病気に伴うこころのつらさや周囲との関係に悩むあなたの相談にのります。



●リハビリ専門職

からだの機能を最大限に活用し、安全に生活できるようにするためのリハビリテーションを担当します。



●管理栄養士

食事のとり方、調理の工夫、栄養補給の方法などを提案し、食生活に関する問題について支援します。

●医療ソーシャルワーカー

あなたやご家族が困っていること（医療費・仕事・療養先など）について相談にのり、援助します。また、在宅医療を受けるための支援を行います。



緩和ケアチームについて、詳しく知りたい、また相談を希望される場合は、主治医や看護師に声をかけてください。

治療や療養の場は

ご希望に沿うように相談させていただきます。

治療を行っている間や行っていない時でも、あなたが一番過ごしたい場所で過ごせることは、大切であると私たちは考えています。今後の治療は当院だけでなく、近くの診療所や通院が難しい時に往診してくれる医師・自宅訪問してくれる看護師とも協力することが可能です。

私たちは、そのための情報提供やご相談をさせていただくことができます。



一般病棟に入院し、治療を受けながら、主治医や緩和ケアチームのケアを受けることができます。

入院



緩和ケア外来に通院し、緩和ケアを受けることができます。

痛みなどによるつらさがある場合は、主治医にご相談ください。

通院（緩和ケア外来）

緩和ケアは、どのような場所でも受けることが可能です。

自宅

自宅で緩和ケアを受けることができます。

お住まいの地域には、自宅へ往診してくれる医師・訪問看護師・薬剤師がいます。

住み慣れた自宅で、安心できるご家族と共に生活を送りながら、体調管理を行うことができます。

日常生活に支障がでるようでしたら、早めに主治医に相談いただき、在宅療養のアドバイスを受けてください。



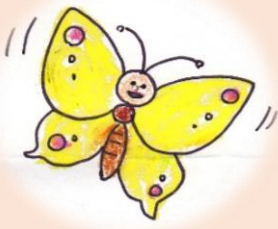
緩和ケア病棟（陽だまり）

緩和ケアを専門の病棟で受けることができます。

専門のスタッフが、からだやこころの様々なつらさをできる限りやわらげる治療やケアを専門的に提供する病棟です。緩和ケア病棟で症状をやわらげ、退院することも可能です。

「緩和ケア病棟」のパンフレットがあります。詳しく知りたいかたは、そちらをご覧ください。





ひとりで悩んでいませんか？

からだやこころのつらさをやわらげるためには、我慢せず
そのつらさを周囲に伝えることが大切です。

私たちは、そのつらさをやわらげるための方法を一緒に考えて
いくことができますので、まずは主治医や看護師などにご相談
ください。



独立行政法人 国立病院機構

南和歌山医療センター



〒646-8558

和歌山県田辺市たきない町 27 番 1 号

TEL.0739-26-7050 番（代表）

作成：南和歌山医療センター 緩和ケアリンクナース会

イラスト：稲垣 なぎさ